

令和3年度 大阪府立河南高等学校 第2回「学校運営協議会」 報告

日 時 令和3年12月21日（火）

場 所 本校 校長室

委 員 吉川 測雄（大阪ファッションアート専門学校）：委員長 ※敬称略
島 善信（前 大阪教育大学特任教授）
岡澤 潤次（前 関西外国語大学教授）
恵島 明（株式会社「えじま」会長）
後田 有里（PTA）

事務局 仲谷校長、仲内教頭、寺田事務長、竹田首席、倉原首席、永田進路指導主事、
内本学力向上PT長

※PTは、プロジェクトチームの略

議 事 (1) 現状報告

校長より 新型コロナ影響下の学校行事の実施状況等

- ① 第1回授業アンケート結果について（教頭）
- ② 広報関係活動報告～活動中間報告（総務部・広報委員会：竹田首席）
- ③ Chromebook 活用 PT より、活動中間報告（竹田首席）
- ④ 授業力向上チームより活動中間報告（内本学力向上 PT 長）
- ⑤ 進路状況～中間報告（永田進路指導主事）
- ⑥ その他

(2) 質疑・応答

- ① 第1回授業アンケート結果について

委員

・授業アンケートについては、今回、さらに評価が上がっている。ポイントが上がっている。
かなり安定して上がっている。

- ② 広報関係活動について

委員

・広報活動について、昨年 280 名の定員に対して 281 名受験。危機感を持って対応が必要。

事務局回答

・今年は出来る限り説明会を対面形式で実施している。学校の中身を見ていただく。
クラブ体験を2回に増やした。大阪市や堺市等の中学校も回っている。
校内での説明会に、これまで700名近くの中学生在が参加している。

委員

- ・私学の学校説明会を見に行き参考になるとよい。
費用の面で公立は修学旅行費など制限されている。3年間の必要経費を提示すれば、保護者も安心するのでは。私学の入試が先にあるが、素晴らしい教育をしている、そこに生徒が来てもらいたい。
- ・学校運営協議会1回目の資料を見て、昨年1名だけオーバー、ビックリした。
部活動、目まぐるしく成果を発揮している。文武両道の学校づくりが出来ている。
昨年の1名オーバーは危機感がある。
分析をしっかりする。地域的偏りや、従来から大きく変わっていることに注目する。
- ・今年度の学校説明会は、生徒の減少傾向を反映してか、9月は中学生の参加が昨年より少ない。10月は大幅に少ない。しかしながら、12月は大幅に増えている。昨年度と異なる結果になっている。校内で危機感を持たれての結果だと思われる。

事務局回答

- ・9月、10月は新型コロナウイルス感染症の影響もあった。
12月は他校と説明会が重なっていたので、1月の第3回は、昨年（19名）以上の生徒の参加を期待している。

委員

- ・分析が大事。公立は校区がなくなったが、近くから来ている。私学は全府から来ている。
「路線」、「どこから来ているか」「保護者の口コミ」戦略が重要。私学と併願の生徒が多いので、広報の戦略を。

③ Chromebook 活用について

委員

- ・非常勤の先生方の活用は難しいのでは。

事務局回答

- ・すべての教員が使えるように、非常勤の先生方にも1台配付している。教科の方で使い方を伝えている。

委員

- ・体育など、実技の科目では難しい。セキュリティの問題もある。生徒の不適切な発言や扱い、充電の問題もある。

事務局回答

- ・ソフトを勝手に入れることなどに対応している。充電を忘れた生徒は、他の人のものを見せてもらう。まもなくモバイルバッテリーが入る。

委員

- ・ギガスクール構想、国は猛烈なスピードで進めている。上手く活用するといいが、誤ると命にも関わる。Chromebookはスマホの延長だが、PC機能はかなりあるので、「ガイドブック、使用規定」が必要。予測より、色々な使い方をされる。定期的な更新や、セキュリティ・リスク管理が必要。「個人情報」「ネット犯罪」「いじめ」につながることもある。

「人を尊重する教育」とつなげて努力してほしい。

事務局回答

・「ガイドブック、使用規定」を作成し、全生徒に配付している。

④ 授業力向上チーム活動中間報告について

委員

- ・新しい評価の仕方は、評価の仕方が大変。教科自体も変わっている。過渡期。
- ・昨年度から、プロジェクトは、すごい意気込み。今年、パワーアップしている。今年の取り組みをもう少し詳しく説明してほしい。

事務局回答

・昨年は「考える授業」が中心であった。今年は「主体的に学習に取り組む態度」をどのように見ていくか、どのように観点別学習状況の評価をしていくかを中心にしている。

委員

- ・3観点を5段階に変えるのは難しい。カリキュラムが変わって、教えることも変わっている。授業力向上にプラスで、評価力向上は大変。

⑤ 進路状況、中間報告について

委員

- ・大学が小・中から生徒の囲い込みをしている。そのような中でも、進路の今後の結果的が楽しみ。

事務局回答

・昨年度、阪大、神戸、広島に入った。今年も、勉強も部活も、こつこつやっている生徒が頑張っている。

⑥ その他

委員

- ・富田林の中学校は、どこも非常に落ち着いていると聞いている。
- ・中学生の保護者に聞くと、生徒は都会に行きたい思考で志望校を選んでいる。田舎もいいのだよということを伝えられたらよい。
- ・屋久島の修学旅行に行けたのが良かった。USJ で終わった学校もある。